



変形性関節症（OA）

■ 病気の概要

関節の軟骨が少しずつすり減り、関節が変形して、慢性的な痛みと炎症が続く進行性の病気です。中高齢で多くみられますが、若くても起こります。犬では大型犬・肥満や、膝蓋骨脱臼・股関節形成不全・前十字靭帯断裂などの関節の病気をきっかけに進むことがあります。猫はとて多く、調査では1歳以上の半数以上に関節の変化があるともいわれますが、痛みを隠す習性のため「年のせい」と見逃されがちです。下の6つをチェックしてみてください。1つでも当てはまれば、関節の痛みが隠れているかもしれません。一度ご相談ください。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・立ち上がりや歩き始めがぎこちない・ゆっくりになった
- ・散歩を嫌がる／距離が短くなった（犬）、動きや遊びが減った（猫）
- ・階段や段差の上り下りをためらう・避ける
- ・ソファや車への飛び乗り、（猫）キャットタワーなど高い所へのジャンプをしなくなった
- ・体を触られる・抱っこを嫌がる、怒りっぽくなるなど性格が変わった
- ・特定の関節をなめる・毛づくろいの変化（毛並みの乱れ）、寝ている時間が増えた

■ どんな検査をするの？

- ・問診（生活やしぐさの変化を詳しくお聞きします。気になる動きの動画があるととても参考になります）
- ・視診・触診（関節の腫れ・痛み・可動域、歩き方を確認します）
- ・X線検査（関節の変形・骨棘・関節のすき間などを評価します）
- ・必要に応じて関節液検査や、痛み止めへの反応をみることもあります
- ・神経や椎間板の病気など、似た症状を示す他の病気との見分けを行います

■ 治療方法

痛みを抑える治療

- ・リブレラ（犬用）：痛みの原因物質 NGF（神経成長因子）を抑える抗体のお注射。月1回、動物病院で皮下注射します。飲み薬が苦手な子にも続けやすい治療です
- ・ソレンシア（猫用）：同じ仕組みの猫用の抗体のお注射。月1回の皮下注射で、肝臓・腎臓への負担が少なめとされます
- ・非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）などの内服の痛み止め
- ・関節サプリメント（グルコサミン・コンドロイチン・オメガ3脂肪酸など）による補助
- ・痛みが強い場合は、これらを組み合わせて管理することもあります

体重・生活・リハビリ

- ・適正体重の維持（減量は関節の負担を最も減らせるケアのひとつです）
- ・滑らない床（マット）・段差のスロープやステップなど環境の工夫
- ・無理のない範囲での運動・リハビリ、関節を温めるケア
- ・重度の関節の破壊や原因となる病気がある場合は、外科手術を検討します（専門施設のご紹介を含みます）

■ ご家庭で気をつけること

- ・適正体重を保つ（食事量の管理と体重チェックを習慣に）
- ・床に滑り止めマットを敷き、段差にはスロープやステップを置く
- ・寝床は暖かく、出入りしやすい高さにする
- ・短時間の散歩や遊びをこまめに。痛がるときは無理をさせない
- ・動きの変化に気づいたら動画に撮って、受診時に見せていただく

■ よくある質問

Q. リブレラ・ソレンシアはどんなお薬ですか？

A. 痛みの信号に関わる NGF（神経成長因子）という物質を抑える、抗体のお注射です。犬がリブレラ、猫がソレンシアで、どちらも月1回、動物病院で皮下注射し、約1か月痛みをやわらげます。飲み薬を続けにくい子や、内臓に配慮したい高齢の子にも選びやすい治療です。

Q. 注射に副作用はありますか？

A. 多くの子で問題なく使えますが、注射部位の反応、元気や食欲の低下、まれにふらつきなどが報告されています。特に犬では海外でふらつきや神経症状などの報告があり、各国で情報提供が行われています。投与後はご家庭で様子を見ていただき、気になる変化があればご連絡ください。体の状態を確認したうえで、使うかどうかを一緒に判断します。

Q. 年のせいで動かないだけではないですか？

A. 「年だからゆっくりになった」の裏に、関節の痛みが隠れていることが多いです。変形性関節症は治療で痛みをやわらげ、生活の質を上げられる病気です。早めに気づくほど、楽に過ごせる時間が長くなります。

Q. 治療はずっと続けるのですか？

A. 痛みの程度に合わせて調整します。お注射は月1回が基本で、効果や様子をみながら、継続や見直しを行います。体重管理や生活の工夫と組み合わせると、より安定して痛みを抑えられます。

■ なつ動物病院での診療について

なつ動物病院では、問診・歩き方・触診・X線で関節の状態を評価し、リブレラ（犬）・ソレンシア（猫）の月1回のお注射や内服のお薬、体重・生活の見直しを組み合わせることで痛みを管理します。「年のせいかな」と感じる動きの変化こそ、痛みのサインかもしれません。気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください